

2026年7月14日

各 位

会 社 名 川 上 塗 料 株 式 会 社
代 表 者 代表取締役社長 西村 聡一
(コード:4616 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 取締役経理本部長 秋山 素寛
(TEL 06-6421-6325)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026年1月14日に公表した業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

(1)2026年11月期 第2四半期(中間期)連結業績予想数値と実績値との差異(2025年12月1日～2026年5月31日)
(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,118	81	96	76	円 銭 76.35
実 績 (B)	3,138	187	210	154	155.17
増 減 額 (B - A)	20	106	114	78	
増 減 率 (%)	0.7	131.0	119.0	103.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年11月期第2四半期)	2,799	△ 38	△ 18	△ 11	△ 11.51

(2)2026年11月期 第2四半期(中間期)個別業績予想数値と実績値との差異(2025年12月1日～2026年5月31日)
(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,088	76	90	72	円 銭 72.25
実 績 (B)	3,102	178	206	153	154.47
増 減 額 (B - A)	14	102	116	81	
増 減 率 (%)	0.5	134.7	129.8	113.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年11月期第2四半期)	2,769	△ 42	△ 16	△ 7	△ 7.80

(3) 差異及び修正の理由

(個別実績)

2026年11月期第2四半期(中間期)における業績につきましては、当会計年度を2年目とする中期経営計画の基本方針である「高収益体質の確立」に注力いたしました。過年度からの継続的な原材料価格の高騰及び諸経費増加に対応するため徹底した利益管理を実行し、販売製品ポートフォリオの見直しも含めた販売価格の是正を促進した結果、一部実現するに至りました。

加えて、中東情勢の悪化に伴い一部原材料の供給制限や価格高騰が発生しており、当社と致しましては安定的な製品供給に尽力する一方、それらに対応する暫定的な価格転嫁も実施しました。

この結果、売上高につきましては、ほぼ前回予想のとおりとなりましたが、利益につきましては、販売価格の是正及び諸経費の削減に加え、中東情勢の影響による原材料価格の高騰を暫定的に製品価格に転嫁する一方で、出荷製品の製造原価にタイムラグが生じ、価格高騰前の原材料価格が反映されたため利益率が一時的に高くなったことから、営業利益、経常利益、中間純利益とも前回予想を上回りました。

2026年11月期通期の業績予想につきましては、中東情勢がいまだ流動的であり、現時点で業績への影響が不透明であることから、前回予想を据え置くことといたします。

今後、影響が具体的に確認された場合には、必要に応じて業績予想の見直しを行います。

(連結実績)

連結実績につきましては、個別実績と同様の理由であります。

※期末の配当予想につきましては、前回発表予想から変更はありません。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上